

舅を介護して着取り、次に のを聞くことで、世の中に

# 内戦と和平 現代戦争をどう終わらせるか

東大 東大著作

## 難題の「落としどころ」

2020年3月29日  
中国新聞

「内戦」は、現代の日本人にとってもっとも理解しにくい政治・軍事的現象だろう。同じ国民が敵と味方に分かれて殺し合うという事態は、私たちの想像力の及ぶ範囲を超えている。しかし、現代の世界では、数十の国や地域で内戦が進行中であり、その結果数千万人の難民が発生している。内戦は、その舞台となって

いる国だけでなく、周辺諸国はもちろんのこと、世界全体に影響を及ぼしており、その解決は人類全体が直面する課題といえる。本書は、こうした現代の内戦に正面から取り組んだ研究の成果である。著者の関心は、内戦自体というより和平と平和構築にある。内戦が終結したのちに、再び勃発した南スーダンとラ



中公新書・968円

フガニスタンを主要な対象とし、持続的な平和の実現の困難性と可能性が説得的に論じられている。内戦を終結させるには、お互いに戦っている当事者同士が話し合っって合意に達したらよいのではないが、

なぜそれができないのか。日本の読者の多数はそう思うだろう。本書の優れた点は、事態はそれほど単純ではないことを、具体的な事例に即して、多数の当事者や関係者とのインタビュの成果を織り交ぜて、一般読者にもわかりやすく論じているところにある。

まず、だれが交渉のテーブルにつくべき当事者であるかを決定するのが容易ではない。交渉は包摂的であるべきだが、限度を超えることが前に進まない。和平交渉には仲介者が必要であるが、どついつた組織の

今週の番組から

リクエスト&メ  
FAX 082-2  
公式ツイッター

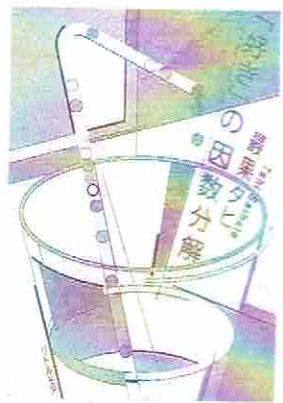
サコ著  
(講談社)

共同通信配信 全国約30地方紙に掲載



争がな  
が生き  
不思議  
本を600  
と住所、  
えてくだ  
ドを贈り  
読書面係

カー  
ヤングアダルト  
世界



「でもプールって楽しくなくていい場所であるのかも、とは思わなかった。楽しいよりも、平坦なままで世界へと溶けていく」と結ばれる短い文章がピンクの文字で、横書きで記され、左ページの上部に「夏の光は熱と共にあるけれど、それを打ち消してしまつた時、光の眩しさは、根拠を失つていく」という文をまんな中にはさんだ短い文章が縁

して、足の指にまとわりつくあの赤土を感じたい」「や、ときどき、さみしくなると、なぜかそのうち、さみしくなくなるだろうって、思えてならない」という詩など。



節子の部屋  
月曜19:00~19:30  
新型コロナで公演中止

パーソナリティーは小松節子さん。今週のゲストは、広島交響楽団を運営する広島交響楽協会理事長の東谷法文さんです。社会人になるまでに経験した5回の挫折や、公演中止など新型コロナウイルスの影響を受けます。

提供=メンテックワールド



東谷 法文さん



小松 節子さん